

各位

Medicinova, Inc.  
代表取締役社長兼 CEO  
岩城 裕一  
(コード番号: 4875 東証 JASDAQ)  
問合わせ先 東京事務所代表 副社長  
岡島 正恒  
電話番号 03-3519-5010  
E-mail info@medicinova.com

## 第22回日本消化器関連学会週間 (JDDW) における

### プレゼンテーションのお知らせ

2014年7月7日 米国 ラ・ホイヤ発 – メディシノバ(MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) は、2014年10月23日から26日まで神戸で開催される第22回日本消化器関連学会週間 (JDDW) において、第18回日本肝臓学会及び第56回日本消化器病学会の2つの学会で、下記のプレゼンテーションを行うことのお知らせいたします。

第18回日本肝臓学会では、「マウス NASH (Non-alcoholic steatohepatitis) モデルにおける Tipelukast の治療効果について」、また、第56回日本消化器病学会においては「マウス NASH モデルにおける Tipelukast 治療効果と炎症および細胞増殖性関連物質の遺伝子発現の解析について」の発表を、当社チーフ・メディカル・オフィサー (CMO) の松田が行う予定です。学会終了後、当社のホームページにて発表内容にアクセスすることができます。

#### 記

● 第18回日本肝臓学会

10月23日 (木) 14:53

「マウス NASH (Non-alcoholic steatohepatitis) モデルにおける Tipelukast の治療効果について」

● 第56回日本消化器病学会

10月24日 (金) 10:15

「マウス NASH モデルにおける Tipelukast 治療効果と炎症および細胞増殖性関連物質の遺伝子発現の解析について」

#### MN-001 について

MN-001 は、経口投与の新規化合物で、炎症を抑える効果が期待されています。MN-001 には、気管支喘息や間質性膀胱炎のようなマスト細胞脱顆粒が引き起こす炎症性疾患治療において重要な抗炎症作用 (ロイコトリエン受容体拮抗作用、フォスフォジエステラーゼⅢ及びⅣ、5-リポキシゲナーゼ、フォスホリパーゼ C、トロンボキサン A2 の阻害など) が認められております。近年、5-リポキシゲナーゼ(5-LO)経路を介したロイコトリエン生合成阻害による炎症の軽減および、線維化の予防の可能性が知られており、当社は、MN-001 が線維症治療に貢献できる可能性があると考えております。

当社は、MN-001 に関し、気管支喘息及び間質性膀胱炎治療薬として臨床開発を進めてきており、喘息治療薬としては、軽度から中等度の喘息患者 147 人に対して行ったフェーズ 2 臨床治験を 2005 年第 4 四半期に完了し、良好な結果が得られておりました。

MN-001 は現在まで 600 名以上の方に投与され、良好な認容性が確立されております。

NASH (Nonalcoholic Steatohepatitis、非アルコール性脂肪性肝炎) について

NASH は、近年、メタボリックシンドロームの増加により認識されるようになった肝疾患で、発生原因にアルコールが含まれないにも拘わらずアルコール性肝障害に類似した進展を示すことが特徴です。発生に至る機序はまだはっきりとはわかっていませんが、肝硬変、肝不全へと進行します。アメリカにおいての成人有病率は 12%といわれており、ヨーロッパ、日本においても同程度の有病率といわれています。なかでも進行度の高いステージ 3、あるいはステージ 4 の病期の罹患者は 600 万人といわれています。薬物による治療法はなく、最終的には肝臓移植に頼らざるを得ません。

以上

メディシノバについて

メディシノバ (Medicinova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。現在当社は、多様な神経系疾患を適応とする MN-166、喘息の急性発作を適応とする MN-221 及び線維症疾患を適応とする MN-001 に経営資源を集中することを戦略としております。

MN-166 についてはさまざまな適応で開発途中ですが、そのほとんどが、治験責任医師または公的、私的機関からの資金援助により行われています。当社はさらに、戦略的提携または共同機関の資金提供を受けるべく交渉を続けております。弊社詳細につきましては

<http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、スイート 650、エグゼクティブ・スクエア 4275 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床治験に関する記述、既存または将来の臨床治験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床治験の結果、現段階の臨床治験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床治験のタイミング、費用、計画など、臨床治験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を初めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。